北海道医師会館９階理事会室

第25回常任理事会

日　時　令和７年３月11日（火）18：00～19：00
場　所　北海道医師会館・９階理事会室
出席者　松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、三戸・目黒・橋本・水谷・山科・伊藤・荒木・長谷部・髙橋・白崎・村上各常任理事、藤瀬・梶・阿久津各監事
（Web参加者）青木・菅田両常任理事
（事務局：三瓶事務局長ほか13名）

協議事項

第１号　日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（髙橋常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座５件を承認することと決定。

第２号　職制の一部改正および職員の人事異動に関する件（目黒常任理事）

一部職名の変更および事務局人事案について承認し、４月19日（土）開催予定の第１回理事会に諮ることと決定。

報告事項

１．医療機関における働き方改革実践事例報告セミナー［２月22日（土）・Web併用］について
（長谷部常任理事）

本セミナーは北海道医療勤務環境改善支援センター、北海道労働局および北海道が主催し、当会が共催して開催した。医療機関における働き方改革の取り組みについて、札幌柏葉会病院・丸一勝彦副院長、帯広厚生病院産業保健師・太田由紀氏から講演があった後、意見交換を行った。参加者は53名であった。

２．都道府県医師会「警察活動協力医会」連絡協議会・学術大会［２月22日（土）］について
（鈴木副会長）

厚生労働省医政局医事課死因究明等企画調査室・佐藤達彦室長補佐から「死因究明等推進計画について」、警察庁刑事局捜査第一課検視指導室・引地信郎室長から「警察の死体取扱業務について」、地域医師会の取り組み事例として、岐阜県医師会・西野好則理事から「岐阜県版死体検案マニュアルによる検案充実の取り組み」、静岡市静岡医師会・水谷暢秀副会長から「静岡市静岡医師会における新たな死体検案体制の構築」をテーマにそれぞれ報告後、意見交換を行った。その後、学術大会が開催され、基調講演として和歌山県立医科大学法医学講座・近藤稔和教授から「死体検案の実際と問題点―より良い死因究明体制の樹立を目指して」、その他４題の一般演題が行われた。参加者は、連絡協議会が102名、学術大会が141名であった。

３．健康スポーツ医学推進委員会［３月１日（土）］について（三戸常任理事）

北海道マラソン2024救護班協力医として活動された札幌市健康スポーツ医協議会幹事・吉田祐一委員より、今大会は暑熱対策を強化したこと、SDGsの取り組みを広げたことなどの報告があったほか、北海道マラソン2025の開催日は８月31日（日）で、今年度より遅い開催となることから、猛暑日を避けられる可能性があるとの説明があった。続いて、小職より道内での日本医師会認定健康スポーツ医制度再研修会開催状況について報告したほか、佐久間副委員長より、第31回日本医師会認定健康スポーツ医制度再研修会の講師２名について紹介が行われた。

４．第31回日本医師会認定健康スポーツ医制度再研修会［３月１日（土）］について（三戸常任理事）

日医認定健康スポーツ医制度の更新２単位の研修会として開催した。医療法人天公会石狩ファミリアホスピタル・河合　剛多副院長より「モルックと道民の健康スポーツとしての可能性について」、学校法人北翔大学大学院生涯スポーツ学研究科・沖田孝一教授より「生活習慣病管理料算定時の療養計画書作成における望ましい運動処方について」をテーマに講演があり、質疑応答を行った。受講者は日医認定スポーツ医等63名であった。

５．令和６年度自民党道連・北海道ブロック両院議員会との勉強会［３月４日（火）］について
（荒木常任理事）

医療政策部の事業活動の一環として、道議会議員（２月５日）に引き続き、国会議員に対する勉強会を開催した。医療界における課題や現況などについて認識を深め、その課題解決のために情報交換することを目的に自由民主党北海道支部連合会・北海道ブロック両院議員会所属の議員に対して、佐古副会長から「病院経営の現況」をテーマに、医療経済実態調査のデータを用いて法人別の医業利益率や経常利益率、給与費比率や委託費比率のほか、国民医療費および診療報酬改定率の推移などを用いて医療機関が置かれている状況を説明した後、意見交換を行った。参加した議員からは物価賃金上昇スライドの導入など診療報酬制度のあり方や健康寿命の延伸、医業承継などについて発言があった。参加した議員は10名、当会からは松家会長ほか４名の役員が

出席した。本勉強会は今後、定期的に開催する予定。

６．第30回日本災害医学会総会・学術集会記念大会［３月６日（木）～８日（土）］について

（白崎常任理事）

名古屋掖済会病院・北川喜己院長が会長となり、「海とともに生きる！伊勢湾台風復興の地で災害のこれまでとこれからを考える」をテーマに開催された。能登半島地震における各支援チームの活動報告や災害時等に船舶を活用した医療提供体制の展望、DHEAT（災害時健康危機管理支援チーム）の課題に関するパネルディスカッション等が行われ、参加人数は約3,300名であった。次回は来年３月19日（木）～21日（土）に新潟大学大学院医歯学総合研究科災害医学・医療人育成分野・高橋昌特任教授が会長となり、新潟県で開催する予定。

７．外部各委員会報告

⑴　北海道医療対策協議会「第１回地域医療を担う医師の確保に関する検討委員会」、「第１回地域枠医師キャリア形成支援検討委員会」、「第２回専門医制度等に関する検討委員会」［２月28日（金）・Web併用］について（佐古副会長）

３検討委員会が合同で開催された。今期北海道医師確保計画ならびに医師の働き方改革の推進状況、地域枠制度の運営状況、研修医・専攻医の採用状況等について説明があり協議を行った。また、令和８年度臨床研修医募集定員について、北海道枠が昨年の427名から15名減の412名であることから、今後さらに定員が減少した場合の対応として、臨床研修病院の最低募集定員を２名から１名とすることが可能となるよう国に要望していくこととした。

⑵　道東ドクターヘリ運航調整委員会事後検証部会［３月５日（水）・Web開催］について

（白崎常任理事）

令和５年度の運航実績について、出動件数の推移や未出動の内訳、傷病者状況などの報告があった。

⑶　北海道医療対策協議会「第４回地域医療を担う医師養成検討分科会」、「第２回専門医制度等検討分科会」［３月７日（金）・Web併用］について（佐古副会長）

２分科会が合同で開催された。今期北海道医師確保計画ならびに医師の働き方改革の推進状況等について説明があり、提案どおり了承された。また、特定労務管理対象機関の指定について、札幌市内の医療機関から申請があったこと、そのうちＢ水準については、札幌圏域地域医療構想調整会議において地域医療提供体制への影響がないことが確認されていること等の説明があり、意見交換の結果了承された。

⑷　北海道ナースセンター事業運営委員会［３月７日（金）］について（水谷常任理事）

令和６年度の事業実施状況について、地域の看護職員確保対策を推進するために第３次保健医療福祉圏単位に設置したナースバンク業務支所における求人・求職相談件数および実績ついて説明があった。また、ハローワーク等の関係機関との連携や、コロナ禍以降中止されていた訪問看護師養成講習会の活動再開について報告があった後、令和７年度の事業計画（案）について協議し、看護職の定着・確保に向けて未就業看護職員や確保困難地域・施設への就業促進、プラチナナースのマッチング強化に取り組んでいくこととした。

８．外部各委員会報告

「第168回臨時代議員会　議案第４号『当面の医療政策に関する件』」について（荒木常任理事）

小職から、取りあげるべき喫緊の課題について配付資料を基に説明した。

第27回常任理事会

日　時　令和７年３月25日（火）18：30～19：08

場　所　北海道医師会館・９階理事会室

出席者　松家会長、佐古・鈴木両副会長、三戸・目黒・橋本・山科・伊藤・青木・荒木・長谷部・髙橋・寺本・白崎・村上各常任理事、藤瀬・梶・阿久津各監事

（Web参加者）菅田常任理事

（事務局：三瓶事務局長ほか13名）

協議事項

第１号　社会保険診療報酬支払基金北海道審査委員会委員の推薦に関する件（橋本常任理事）

現審査委員が５月末日で任期満了となることから、診療担当者代表の審査委員50名の推薦依頼があり、従来通り内科、外科は現審査委員の選出郡市医師会に、他科は各専門医会に人選を依頼することと決定。

第２号　母体保護法指定医師の指定に関する件

（目黒常任理事）

持ち回りの審査委員会において指定可とされた新規申請者１名、施設名称変更２名の申請者を指定医師とすることと決定。

第３号　職員就業規則の一部改正、職制の一部改正、職員給与規程の一部改正、職員育児・介護休業規程の一部改正、職員ハラスメントの防止に関する規定の一部改正、ハラスメント防止対策委員会設置要綱の制定に関する件（目黒常任理事）

育児・介護休業法の改正・施行、当会職員職制・各課事務分担の変更等に伴い、当会各種規則等の一部を改正、本年４月１日より施行し、次回理事会に諮ることと決定。

第４号　日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（髙橋常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座５件を承認することと決定。

第５号　その他

⑴　４月行事予定に関する件（事務局）

報告事項

１．令和６年度産業保健各種研修会について（村上常任理事）

本年度、当会の主催により産業保健研修会５か所、産業医学基礎研修会（前期・後期各１回）、産業医学実践研修会、産業保健実地研修会を開催したほか、郡市医師会に委託しているリフレッシュ研修、スキルアップ専門・実地研修は６か所で行われ、全15回の受講者総数は873名であった。

２．報道機関各社との懇談会［２月26日（水）］について（寺本常任理事）

報道機関各社と意見・情報交換を通じて、医療への見識や医師会への理解を深めることを目的に開催した。報道機関各社からの出席者は７社10名で、当会より医師の働き方改革について話題提供し、意見交換後、懇談を行った。

３．北海道小児救急医療地域研修事業に関する打合せ会［３月４日（火）］について（白崎常任理事）

小職から、全道８か所で開催した小児救急医療地域研修会の実施結果および本研修会受講者を対象に行ったアンケートの結果を報告し、意見交換を経て研修事業の総括を行った。アンケートでは「有意義であった」「また参加したい」等好評な意見が多数見受けられ、研修内容をさらに充実させ、来年度以降も引き続き開催していくこととした。

４．北海道がん検診従事者講習会マンモグラフィ読影（新規・更新）講習会［３月８日（土）・９日（日）］について（青木常任理事）

マンモグラフィ読影力の維持・向上を目的に日本乳がん検診精度管理中央機構との共催で、新規講習会と更新講習会を実施した。受講者は事前にe-learningを視聴し、当日はモニタによる読影試験、症例検討等を行った。受講者は新規が26名、更新が28名であった。

５．新たな地域医療構想・医師偏在対策担当理事連絡協議会［３月19日（水）・Web併用］について（荒木常任理事）

第１部では「新たな地域医療構想」をテーマに日医・江澤常任理事から新たな地域医療構想に関するとりまとめの概要や、新たな地域医療構想と医療計画の関係、地域別訪問診療需要の変化の状況等についての説明や、秋田県医師会・小泉ひろみ会長から第八次医療計画における二次医療圏の再編についての説明があった。第２部では「医師偏在対策」をテーマに日医・今村常任理事から医師偏在の是正に向けた総合的な対策パッケージの概要や医師偏在に対する日本医師会の考え方等について、新潟県医師会・堂前洋一郎会長から県の医師偏在対策として県医師会・県庁・大学医学部の連携内容等について説明があった。

６．医療関係者等スキルアップセミナー［３月23日（日）・Web併用］について（三戸常任理事）

北海道健康づくり財団からの受託事業として、北海道歯科医師会の協力のもと開催した。講師に本間内科医院・澤田香織院長、北海道歯科医師会・沖津正尚理事から、「在宅医療における医科歯科連携」をテーマに講演後、質疑応答を行った。参加者は会場14名、Web53名であった。

７．外部各委員会報告

⑴　第１回北海道ギャンブル等依存症対策推進会議［３月13日（木）］について（荒木常任理事）

国のギャンブル等依存症対策の方向性とギャンブル障害およびギャンブル関連問題の実態調査について報告があった後、北海道ギャンブル等依存症対策推進計画に係る取組状況について北海道ならびに各構成機関より発表があった。

⑵　北海道病院事業推進委員会第３回改革推進プラン検討部会［３月17日（月）・Web併用］について（佐古副会長）

道立精神科医療病院の各経営指標と今後の方向性について報告があり、常勤医の派遣に係る大学との連携、改築後の病床数の適正性等について協議した。その後、本年度末までの設置としていた本検討部会は、各病院のあり方および令和８年度以降の中長期の収支計画等の策定について議論が必要であることから、令和８年３月31日までの１年間継続することについて提案があり了承された。

⑶　第28回北海道医療対策協議会［３月21日（金）・Web併用］について（佐古副会長）

はじめに奥尻町・新村卓実町長から医師派遣（紹介）連絡調整分科会の議事内容について報告があり、医育大学の地域医療支援センターからの医師派遣や自治医科大学卒業医師の配置等、令和６年度実績と令和７年度に予定している医師派遣調整状況等について説明があった。その後、松家会長から地域医療を担う医師養成検討分科会、小職から専門医制度等検討分科会について、それぞれ本年度の検討・協議内容を報告し意見交換を行った。

⑷　第２回道民の健康づくり推進協議会［３月21日（金）・Web併用］について（三戸常任理事）

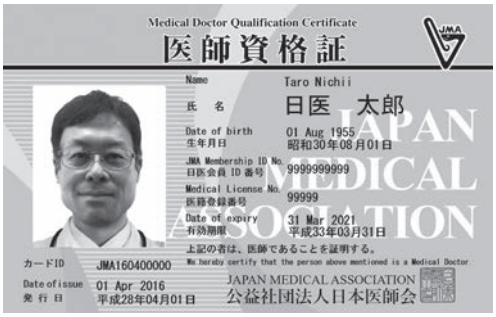
新たな北海道健康増進計画の推進について等５題の報告の後、健康寿命の延伸に向けた食環境整備の今後のスケジュールについて協議した。

(5) 第２回北海道難聴児支援推進協議会［３月21日（金）・Web併用］について（三戸常任理事）

国の新生児聴覚検査に係る動向と他県における聴覚障害児支援の中核的機能の在り方について説明があり、本年１月31日から３月２日に実施した難聴児支援に関するアンケート調査について報告が行われた。その後、来年度の難聴児支援に係る事業の説明があった。

「医師資格証」を持ちましょう

診療情報提供書等へのＨＰＫＩ電子署名に対応しています



＜問い合わせ先＞

北海道医師会　事業第一課

TEL 011-231-7661

http://www.hokkaido.med.or.jp/doctor/credential.html

日本医師会電子認証センター

http://www.jmaca.med.or.jp/

『医師資格証』はHPKI(保健医療福祉分野公開鍵基盤)の枠組みを使った日本医師会認証局が発行する医師資格を証明するカードです

北海道医師会ホームページ→医師の皆さまへ→会員専用メニュー→会員優待サービス

（ご利用にはユーザー名・パスワードによるログインが必要です。）

http://www.hokkaido.med.or.jp/

会員優待サービスのご案内

北海道医師会では、福利厚生事業の一環として会員限定の優待サービスを行っています。

割引価格で提供されていますので、ホームページをご覧ください。

ホテル予約

出張時の宿泊予約、家族旅行の宿泊に…

ショッピング

ご自宅用・出産祝い等のギフトに…

お引越し NEW

国内・海外へのお引越し

令和５年８月よりスタート

イベント

ミュージカル・演奏会、野球観戦、ストレス発散に…